

延浄寺だより

平成二十八年 秋彼岸

FAX

03.3326.7337
03.3326.2797
03.3326.5037



住職 網代正孝

秋のお彼岸

今あるいのちはご先祖のおかげ
阿弥陀様とご先祖に感謝する一週間

もうすぐ秋のお彼岸です。秋のお彼岸は九月十九日から二十五日までの一週間です。

お彼岸は阿弥陀様とご先祖に感謝する一週間です。

なんで感謝するのですか

私たちの命は阿弥陀様の光の中で生まれ、光に照らされて生きて、亡くなって光の中に還っていきます。このことが限りなく

く続いていきます。

ご先祖は阿弥陀様の光の中で私たちを支えてくれます。その仕組みは「組み体操」に似ています。組み体操の一番上にいるのが自分です。亡くなってしまおうと支えてくれる人は見えなくなります。

ご先祖のだけか一人が欠けても、ちょうど組み体操の誰か一人が欠けると同じように、一番上(自分)がくずれてしまうわけです。

だから昔の人は「あなたが今いるのはご先祖のお陰だよ、ご先祖を大切にしないさい」と子供に言い育てたのです。ご先祖は阿弥陀の光の中にいるのですから、お彼岸は「私を支えてくれてありがとう」と阿弥陀様とその世界のご先祖に感謝する一週間でもあります。



延浄寺の阿弥陀如来

**合同法要 十二時から十二時四十分
九月二十二日(お中日) 正午から合同彼岸法要をいたします。**

どうぞご家族おそろいでお出かけください。

読経やお墓参りの後は**気が休まる**ようにとよくいわれます。

私を支えてくれていた故人やご先祖に触れるのですから、気が通じ合いふれあいができ気が休まるのでしょうか。気が休まるか否か確かめてください。

お汁粉などのお彼岸接待は二十二日に行います。

読経の後は十二時四十分より一時二十分まで法話の時間です

お話はお盆だよりで紹介しました

行政書士の平原昌一さんです。

テーマ

初めての相続・初めての遺言



平原昌一行政書士

行政書士は街の便利屋さんだと言われています。最近「終活」といわれる言葉がはやっています。葬儀や寺との関係だけでなく、相続や遺言に関する事、あるいは生活の中での法律に関わる様々な問題。つい面倒になる手続き、などなど何でも相談に乗っていただけます。

終活の中でどんな問題が多いのか、相続や遺言など元気なうちに考え決めておいたほうがよいわけです。今回は「初めての相続・初めての遺言」をテーマにお話を聞きます。エンディングノートなどの資料などもお配りします。良いお話が聞けます。ご期待ください。

過去帳の新しい発見

お檀家の内藤茂順さまの奥様は今年七月十九日に往生されました。過去帳をおつくりになった時、新しい使い方を提案されました。過去帳の活かし方として皆様にも紹介させていただきます。

過去帳を活かす

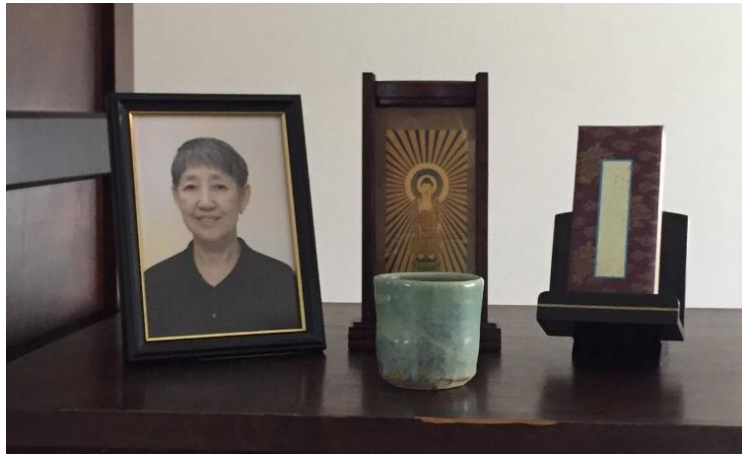
内藤茂順

七月初めに妻が往生した。四月末に進行性胃がんと診断されてから二カ月半で往つてしまった。延命治療はせず、疼痛がないう事を希望して薬物療法を行なった。余命は限られているという現実を冷静に受け入れ、残された日々を淡々としかも精一杯生きぬいた。まず遺影を撮影する。母親に会いに行く。衣類や書類などの処分。年金、預貯金の整理。医療保険証などの整理。分骨埋葬先の指示。料理方法の伝授など残された者が戸惑うことなく暮らすための心遣いをしてくれた。ひとつの命がこの世界からスッと消えて往くことを望んでいたのだと思う。充分楽しんだと言う言葉を残し穏やかに瞼を閉じた。

六十二歳の若さだったが、覚悟を決めた大往生だったと思う。

葬儀、納骨は全て延浄寺にお願いした。父の墓は島根県の浄土真宗西楽寺にあったが、三十数年前に延浄寺に移した。妻の実家も浄土真宗なのと同じ墓に入れること

にした。墓の問題は解決したが、自宅の仏壇はどうしようかと延浄寺の網代住職に相談した。妻はシンプルなものが好きだったし、私も妻の思い出を身近に置きたいと思ったので、ご本尊、過去帳、見台、香炉、遺影だけとし、仏壇を作らず箆笥の上に並べて置くことにした。



過去帳は日付け入りにした。毎月命日の頁を開くたびに妻を思い出すことが出来る。こう決めてから、故人を偲ぶのは往生した日だけでなく、誕生日や結婚記念日も記入したくなった。また、私や妻が会ったことのある祖父母の命日、父母の誕生日と命日、兄弟の誕生日と結婚記念日、子供と甥、姪の誕生日も記入しておこうと思った。結婚記念日や誕生日は分かっているがそれが何年だったのが曖昧だったので、「今年が結婚三十周年よ」「お父さん私ももう二十五歳だよ」などと叱られたもの。大正、昭和、平成の年号だけでなく西暦も入れておきたい。こうすることで故人だけ

でなく遠くで暮らす肉親に思いを馳せることが出来る。言わば写真の無いアルバムのような物だ。家の歴史を記録するためには無く、結婚によってご縁をいただいた両家の人びとの思い出を収めた過去帳を作ることになった。

うたごえのお誘い

月に一回 誰でも知っている懐かしい歌・楽しい歌をプロのアコーディオンの伴奏で歌います。毎回二十名程度参加します。九月は二十七日(火)十時三十分から十二時までです。九月の歌は 里の秋 旅愁 故郷の廃家 小さい秋 この道 ローレライ 夜明けの歌 サントアマミ 黒い瞳 灯などです。どなたでも結構です、お誘いの上お出かけください。

六十五才以上の男性の集い

六十五才以上の男性が集まり、飲んだり食べたりしながら自由に話し合う集いです。参加者はあまり年齢にこだわりませんが、三品以上のツマミを持参します。飲み物は寺で用意しますアルコールがダメな方も何人もいます。話をしたり聞いたりすることで知り合いをつくるのが目的です。二ヶ月に一回開きます。次回は十月十一日(火)五時から七時までです。新人はいつも大歓迎です。お待ちしています。

健康体操

毎月第二金曜日、十時から十一時半、姿勢を整えることと、介護予防を専門家の指導で行っています。持参するものは動きやすい服装でタオルと水、できれば。五本指の靴下または裸足でも可能です。現在、全員女性で十八人のメンバーがいます。次回は十月十四日金曜日十時から十一時半です。ぜひお出かけください。

お墓の分譲予約

今年、複数の完成墓地(土地と墓つき)を造っておりまして。価格は百八十万円から四百五十万円です。希望される方がおいでしたら紹介ください。

桜の樹の下の散骨墓

寺のできる社会貢献
お檀家になれば散骨は無料でも可

お盆便りでも紹介しましたが、お墓に下る階段の右側の桜の木の下に散骨できるお墓があります。2007年に造りました。お骨は親族がそれぞれの手で散骨します。あまり宣伝をしないので、それほど多くの方が利用されていませんが、今後は口コミで広がっていくのではないかと思います。

す。

料金はお布施の形で頂いておりますが、お困りの方はお檀家になっていただければ**無料でもよい**と思っています。

できれば生きている時に寺と契約をしていただきます。葬儀や法事は当寺が行います。すでに亡くなってお骨を持っている方でも、お檀家になっていただければかまいません。

安くあげたいということではなく、様々な事情があり困っている。そんな時に無料で散骨できる寺があっても、**これからの社会に必要な**のではないかと思います。

特に最近**直葬**と言って葬儀をしないで直接火葬し自宅に安置する方が葬儀社の話では二〜三割はいるようです。お骨にしてしまえば何年も自宅に安置できます。公園墓地にお墓があれば四十九日にそのまま納骨すればよいのですが、お墓がない場合は、墓を買うには高いし、預けるのも面倒だし、自宅に数年置いてしまう方が、かなりおられるのではないかと思います。これからはますます増えるでしょう。家にお骨があり困っている方、そんな方の相談に乗る寺にしたいと思えます。お困りの方が身近においででしたらぜひ紹介してください。

お彼岸アルバイト募集

お彼岸アルバイト募集
九月二十二日午前九時から午後四時まで
一日七千円です。希望される方は電話ください。定員になり次第締め切ります。